

平成26年3月12日

## 「海拔表示板」の設置について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓をもとに、津波対策は全国的な取り組みとなり、お客様の避難誘導を迅速に行うことを目的とした「津波対応マニュアル」を平成24年度末に策定しました。その後北海道が公表した「津波浸水予測図」、関係自治体が策定・修正した「ハザードマップ」をもとにマニュアルの見直しを行ってきました。このたび、駅をご利用されるお客様へ駅舎等の地盤の高さを表示することとし、津波浸水区域内やその隣接する駅舎等に「海拔表示板」を設置しました。今回設置した「海拔表示板」は国土交通省の海拔表示シートの仕様を基本としています。



【設置例：室蘭線苫小牧駅】



【「海拔表示板」の例示】

### 【設置対象駅の内訳表】

線名	設置区間	駅数
根室線	上厚内～茶内	25
日高線	勇払～様似	28
函館線	函館～桔梗、姫川～二股、渡島砂原～森、余市～銭函	31
室蘭線	静狩～沼ノ端	34
江差線	七重浜～渡島鶴岡	11
釧網線	遠矢～釧路湿原、中斜里～網走	12
留萌線	留萌～増毛	9
宗谷線	南稚内～稚内	2
		152

- ・ 関係自治体が設置した駅を除き、119駅に設置予定
- ・ 上記の119駅のうち107駅は設置完了（平成26年3月7日現在）
- ・ 残り12駅については近日中に設置予定